

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
652 コミュニティセンター管理運営事業（予約システム事業）

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	2	生涯学習の場の整備・充実

事業種別	継続		
事業期間	永年 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	加藤 裕晃	435-1138
関連課	体育振興課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	コミュニティセンター費		
	大事業	コミュニティセンター事業		
中事業	コミュニティセンター管理運営事業（予約システム事業）			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）		全体事業概要			
	パソコンや携帯電話からインターネットを通じて施設の空き状況照会や予約ができるシステムを提供し、施設利用の利便性の向上を図り、市民の学習活動を推進する。		パソコンや携帯電話からインターネットを通じて施設の空き状況照会や予約ができる「和歌山市公共施設案内・予約システム」を提供する。			
事業内容		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		コミュニティセンターの施設予約システムの運営	コミュニティセンターの施設予約システムの運営	コミュニティセンターの施設予約システムの運営	コミュニティセンターの施設予約システムの運営	コミュニティセンターの施設予約システムの運営

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	964	964	964	964	964	964	964	964	964	964
伸び率（%）	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	373	1,015	1,015	360	4,910	3,527	4,184		4,184
	正規職員以外									
	小計	373	1,015	1,015	360	4,910	3,527	4,184		4,184
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	964	964	964	964	964	964	964	964		964
所要人数（人）	正規職員	0.05	0.13	0.13	0.05	0.62	0.44	0.52		0.52
	正規職員以外									
主な予算内訳	機械等借上料 964千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 システム導入施設数	施設	目標値	6	6	6	7	7
		実績値	6	6	6		
		達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標 予約システム「予約件数」	件	目標値	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
		実績値	5,373	6,437	7,348		
		達成度(%)	97.6%	117.0%	133.6%		
活動指標		目標値					
		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	パソコンや携帯電話からインターネットを通じて施設の空き状況照会や予約ができるシステムを提供。
見直し・改善内容	施設の予約や空き状況の確認がパソコン等からできることを、より一層周知し、利用促進に取り組む。